



プロジェクト名称 【参加人数：17名】

みんなで作る建築ガイドブック -建築・空間デザイン領域の建築情報共有化プロジェクト-

活動概要・目的 【活動期間：2011年6月1日～2012年3月31日】

本学部は3年目を迎えたばかりで歴史が浅く、他の建築系学科に比べ、建築の情報を得る機会が少ないと感じていました。そこで、建築に肌で触れ、柔軟に学んでいく機会を設けようという考えのもと、私たち自身で企画から始め、勉強会を開き、本プロジェクトをスタートさせました。この研修旅行で学んだことをアウトプットしていくことで学部の魅力を他学部の学生やオープンキャンパスに来て頂いた高校生にも明確に提示できるのではないかと考え、資料の作成までを行いました。

年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
6月	パンフレット作成	芝浦キャンパス	オープンキャンパス時に配布する資料の作成作業
	デザイン打ち合わせ	芝浦キャンパス	内容についての話し合い
7月	パンフ中身の構成(写真)	芝浦キャンパス	現地で撮った写真を地域ごとに選別する作業
	中身の構成(文章)	芝浦キャンパス	地域ごとの担当者に概要や旅の感想を書いてもらう
	デザイン決定	芝浦キャンパス	InDesignを使い、パンフレットを作成
	納品	芝浦キャンパス	500部の印刷作業
	パネル作成	芝浦キャンパス	オープンキャンパス時に展示するパネルの作成作業
	パネルボードの作成	芝浦キャンパス	A2サイズのボードを4枚繋げたボードの作成作業
	印刷	芝浦キャンパス	パンフレットをA2サイズに引き延ばしボードに張りつけ
8月	オープンキャンパス	大宮キャンパス	デザイン工学科ブースにて旅の参加者による説明
1月末	デザイン工学部冊子掲載	芝浦キャンパス	作品集『Yearbook2011』への掲載資料の整理



プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

実際に私たちが学生プロジェクトへの参加を決めた時、研修旅行のパンフレットと報告書の作成までを計画していましたが、大学の課題と重なりなかなか時間がとれず、報告書の作成を期限までに間に合わせることが出来ませんでした。

パンフレットに関しては夏のオープンキャンパスまでに作成し、来て頂いた方々に配布することが出来ました。実際に、このような旅の企画があることを知り、それをきっかけに本学部に興味を持って入学した学生もいます。そして今年も多くの方々がデザイン工学部に関心を持って下さり、色々とお話する機会に恵まれました。

受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

特にありません。

プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

この1年間、学生プロジェクトとして活動させて頂き、実際にモノが完成され、それを第三者の方々に見て頂く機会を設けることが出来て、大変勉強になりました。

この企画は私たちが研修旅行をしようと思った時から始まっていました。そして、旅を終えて今思うことは4年間という大学生活の中で、建築を志し集まった17人の仲間と共に異国の地で勉強出来たことが皆にとって、とても良い経験になったと思います。この旅を有意義なものにするべく、事前には学習会を自主的に行い地域ごとにグループをつくり、調べた内容をプレゼンテーションし、しおりの作成も行っていました。その結果、現地に着いてからスムーズに行動出来ました。

今回とても苦労したことは、インプットしたことをアウトプットする方法です。責任者である私も研修旅行後は日々の生活に追われ、報告書の作成も短期間で出来るものではないため、結果として作成を間に合わせることが出来ませんでした。悔いの残る結果ではありますが、私自身この活動を通して成長することが出来たので今後に繋がっていくと思います。

学部としては何もかもが初めてで、前例のないことに挑戦しようと気持ちだけが前に前にと進んでいき、形にするところまで至らなかったのは力不足だったと痛感しました。しかし、一期生であることに変わりありません。私たちが立ち上げたこの研修旅行が、今後も引き継がれていくことを願っています。実際、今年も研修旅行は行われ、学年の壁をこえて交流を深めました。

このように、企画提案のプレゼンテーション時にお話した“タテの繋がり”と“ヨコの繋がり”がこの活動を通して深められたことを嬉しく思います。

これからも、各々が活発に活動に参加することで、デザイン工学部独自のカラーを築ききっかけとなることを願っています。



プロジェクト活動写真



写真1 去年のオープンキャンパスで、研修旅行に参加した学生が来て下さった方に説明している写真

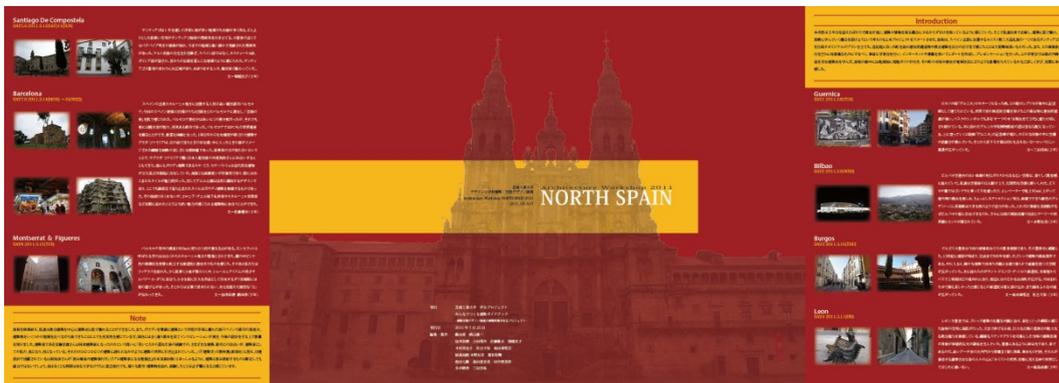


写真2 パンフレット中身